

2016J2

■順位表■第38節

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績（岐阜から見て）

1	札幌	78p	+29	58	29	H●	A●
2	松本	75p	+27	55	28	H●	A△
3	清水	72p	+42	75	33	H△	A●
4	C大阪	69p	+16	58	42	H●	A●
5	岡山	63p	+16	52	36	A○	H●
6	京都	63p	+14	45	31	H●	A●
7	町田	55p	+5	46	41	A△	H●
8	横浜FC	55p	+1	46	45	A○	
9	愛媛	50p	0	37	37	A○	HO
10	徳島	48p	-2	37	39	A○	H△
11	山口	48p	-8	49	57	H●	A○
12	千葉	46p	-4	45	49	A●	H●
13	長崎	46p	-8	38	46	H●	A●
14	水戸	44p	0	41	41	HO	A●
15	熊本	43p	-13	36	49	H●	
16	東京V	42p	-13	38	51	A△	
17	群馬	41p	-12	46	58	A●	
18	山形	40p	-9	36	45	H●	A△
19	讃岐	39p	-16	38	54	A●	H△
20	金沢	37p	-21	34	55	A○	H●
21	北九州	36p	-16	40	56	HO	A●
22	岐阜	34p	-28	39	67	---	---

次回HomeGame

第40節 vs.横浜FC

11/6(日) 13:00

@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場



本庄工業株式会社

<http://www.honjo-woodream.com/>

岡田歯科医院

岐阜市加納新本町1-23
tel:058-273-8998

ALADDIN

何も無い店だけど..

心の花が咲く..

何も無い店だけど..

心癒される..

忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

today's guest : ザスパクサツ群馬

2015 J2 13勝9分20敗 勝ち点48:18位

直近の対決と結果	ここ3試合の公式戦の結果	
2016/02/28 J2-01節@正田スタ	FC岐阜	ザスパクサツ群馬
群馬 4-0 岐阜	2016/10/30 J2-38節@本城北九州 2-1 岐阜	2016/10/29 J2-38節@正田スタ 群馬 0-4 清水
	2016/10/22 J2-37節@長良川 岐阜 1-2 町田	2016/10/23 J2-37節@ニッパツ 横浜FC 3-2 群馬
	2016/10/16 J2-36節@西京極 京都 1-0 岐阜	2016/10/16 J2-36節@正田スタ 群馬 3-0 長崎

● J2 残留争いが激しさを増す 2016 年シーズン終盤。20 位の FC 岐阜は 10/22 (土) 第 37 節、町田をホームに迎えた。前半は無失点で折り返し、後半にセットプレーで先制して有利な展開に持ち込んだが、DF ラインが引いてしまったところを狙われて 2 失点。悔しい 1-2 での逆転負けとなってしまった。また同節の試合で金沢が岡山に勝利したため、岐阜の順位は 21 位に後退し、降格圏に。そして迎えた 10/30 (日) 第 38 節。アウェイに乗り込んで 22 位・北九州との J2 残留をかけた「裏・天王山」の決戦は、前半に DF ラインの裏を突かれて失点したものの、直後に #33 レオミネイロのゴールで追いつく。だが、またしても DF 陣の隙を狙われて失点。後半は巻き返したが決定機には至らず、絶対に勝たなければならない重要な試合を、本当に悔しい 1-2 の敗戦で落としてしまった。

これで FC 岐阜は、10 月の 5 試合を 5 連敗。遂に最下位・22 位となってしまった。もしも、このまま勝ち点を積み上げることができなければ、J3 降格が確定する。しかし、まだ 4 試合も残っている。そして、順位が逆転されたとはいえ、21 位・北九州との勝ち点差は 2。勝ち点差 6 以内には 18 位・山形まで含まれている。非常に厳しい状況に置かれていることは残念ながら間違いないが、巻き返しが不可能という訳でもない。今後の対戦相手は自分たちよりも常に上位、自分たちは常に挑戦者として勝利を目指すという、シンプルな構図だ。ここはポジティブに開き直って、決して諦めずに最後まで全力で戦い抜くことが、選手やスタッフ、フロントそして僕らサポーター、FC 岐阜を取り巻くすべての人々に求められているだろう。

さて、今節の対戦相手は現在 17 位のザスパクサツ群馬。勝ち点は 41 で既にプレーオフ進出は不可能となっているが、一方で降格圏からの勝ち点差も 5 であり、はやく J2 残留を確定させるために彼らも必死で勝ち点 3 を狙ってくるだろう。これまでの通算対戦成績は、岐阜の 6 勝 6 分 7 敗 16 得点 22 失点と少し分が悪いが、ホーム戦では 3 勝 3 分 2 敗 5 得点 4 失点と、僅かに勝ち越している。昨年のホーム戦・6/28 (日) 第 20 節では、先制されたが追いついて 1-1 でのドロー。そして雷雨により延期された代替のアウェイ戦・8/26 (水) 第 27 節は、中 3 日のコンディションで苦しい試合展開だったが、OWN ゴールで奪った 1 点を守り抜いて 1-0 で勝利し、最下位脱出を果たした試合だということ、今の状況を踏まえて、あらためて確認しておきたい。ただし、今シーズンは 2/28 (日) 開幕戦・アウェイで 0-4 と惨敗していることも、残念ながら付け加えなくてはならない。このリベンジを果たすためにも、やはり今節は必ず勝たなければならない。群馬の最も注意すべき選手には、やはり #26 瀬川祐輔を挙げておくべきだろう。昨年の大卒ルーキー江坂任 (現・大宮) から背番号を引き継いだ大卒ルーキーは、我々との開幕戦で 2 得点 1 アシストと鮮烈なデビューを飾り、現在 11 得点。岐阜にも瀬川と同年代の選手は多いが、ここは昨年の関東大学リーグでも対戦している #30 田代雅也を、瀬川を抑える活躍に期待したい。また、J3・長野から「個人昇格」して 9 得点を挙げているスピードスターの #13 高橋駿太や、ベテラン MF #30 松下裕樹にも要注意だ。一方の岐阜の選手では、守備面では群馬県出身で 07~10 年には草津 (現・群馬) に在籍していた #1 GK 常澤聡が DF 陣を統率して無失点に終わる活躍を見せて欲しいし、攻撃面では前節もゴールを決めて 9 得点の #33 レオミネイロに、ホームスタジアムを沸かす決勝ゴールを決めて欲しいところだ。

残り 4 試合、そのうち 3 試合がホーム戦だ。これまでも僕ら FC 岐阜サポーターは、こんな苦しい状況でも最後まで諦めずに、選手の力になる拍手と声援を送り続けて、乗り越えてきたはずだ。自分を信じ、仲間を信じよう。そして僕らの「底力」を見せようじゃないか。(ささたく)



「いらっやいませ」より「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から
徒歩 3 分。

休:月曜日

投稿募集!!

アドレスが変わりました

gidaidohri@gmail.com

【第37節】岐阜 1-2 町田

●課題だった前半を無失点で終え、後半にセットプレーで先制…そこまでは良かったと思う。だけど、3連敗の現実から残留争いのプレッシャーのためか、気持ちが守りに入ってしまうとバランスが崩れてしまう…サッカーの怖いところですよね…しかも、好調だった#14 風間宏矢が負傷交替してさらにバランスが崩れて、直後に失点…(溜息)。そこで守備陣が声をかけあってラインをコンパクトに戻せれば良かったと思うんだけど、若い選手たちが多かったチーム構成で、その統制がとれなかったのかな…再び似たような形で失点し、逆転負け。それほど町田の勢いは感じられなかっただけに、最低でも勝ち点1を積み上げる試合運びができなかったのが、本当に残念な試合だった。(ささたく)

●う～ん、前節に引き続きつかみ損なった勝ち点。実に痛い敗戦となってしまった。試合の流れ自体は町田に握られていたものの、懸命な守備で課題の前半を無失点で抑えた。そして、千載一遇のチャンスであるセット・プレーからの先制点。下位が上位を破る典型的なパターンに持ち込めたと思ったのだが……。逆に追いつかれた後の修正ができないまま、落ち着きを取り戻せないまま、流れの中で逆転を喫してしまう。これも、下位のクラブによく見られるケースと言えばそれまでだが、前節ともども引き分けに持ち込めない脆さ。そこが残留争いをしている他のクラブを引き離せない要因なんだろうな。残念でならない。

結局、ギリギリの状況で北九州との直接対決を迎えることになってしまったが、勝ち点1といえども優位な立場にいることは事実。幸い、レオミが警告を受けることがなかったので、北九州戦に出場できることはありがたい。次節は本城で精一杯後押しをしてきます!(ぐん、)

【第38節】北九州 2-1 岐阜

●今シーズンの“裏・天王山”、アウェイ北九州戦。この試合の勝敗は正に“天国と地獄”、絶対に勝たなくてはならない一戦を前に、遠く北九州の地に集まった多くのFC岐阜サポーターたち。お互いに失点を警戒して慎重な立ち上がり。しかも岐阜は、最初から完全に守備に重点を置いた5バックで、攻撃はブラジル人トリオに任せる体制。そりゃ確かに勝ち点3ではなく1ずつを分け合う結果になっても順位は替わらないから、それも見据えての試合運びも仕方ない。だけど、守備ラインが引いてるのでボールを奪ってから素早く攻撃には移れない。それと…個人的には、ブラジル人トリオっていう選択肢は、“劇薬”なんだなあ…と改めて感じた。3人の個の力で何とかしてしまえるし、実際“何とかしてしまった”試合もある(と思う)。だから頼りたくなる、たぶんピッチ内の選手たちも。だけど、攻撃の選択肢が偏るから相手に完全に狙われてるのに、届くボールが足元ばかり。それに、ボールを触って自分のリズムを作る選手たちだから、どうしてもボール離れは遅くなるし、その隙を狙われる。それでも好調なら問題ないけど、不調だと…。そういった“賭け”が、今回の試合では裏目に出たのかもしれないと、そんなことを僕は感じた。

試合後、挨拶に来た選手たちに「まだやれる!大丈夫だ!最後まで諦めないぞ!」と声を掛ける岐阜サポたち。それに応えて、通訳を呼んで「最後まで戦うので、最後まで応援して欲しい」と語る#33レオミネイロ。その気持ちには本当に感動したし、彼とサポーターは気持ちが一つになったと思う。だけど、他のメンバーが(スタッフも含めて)すぐに戻ってしまったのは……いや、それは次の試合に向けての準備をするため、僕の考えすぎなんだろう。僕らはチームを信じて応援することしかできないのだから。もう、開き直って最後までやるしかない。だけど僕らは、こ

んな逆境は慣れっこだ(苦笑)。最後まで不敵にニヤリと笑って、最後まで絶対に諦めない、それが最後に希望を掴む秘訣だと、今度も証明して見せよう。(ささたく)

●失点は双方ともミスが起点。そのミスが多かった方が負けた。とはいえ、バンディエラも常澤もそれ以外のプレーは問題なし。先制点はCBからうまく外れて、オフサイド・ポジションからオンサイドへ戻ってから抜け出した原の動きが秀逸。目の前で見て「ウワッ、ヤバイ!」と感じた瞬間の失点だったし、決勝ゴールはシュートが素晴らしい。振り抜かずに足を合わせただけのようなキレイなゴール。で、アレが決まって、レオロシャのシュートはバーを叩く。運もなかったかな?前半は5バック?勝ち点1でも優位な立場なので、前半は引き気味に入ったのかもしれない。プランとしては悪くなかったと思う。逆に、後半は北九州が引いて守ってきたので、ウチにもチャンスはあったのだが、ことごとく決まらず。ついに自動降格圏の最下位に転落となってしまった。でも、レオミが現地サポに向けてアツク思いを語ってくれた。一刻も早くクールダウンした方がいいのに……なんてことも思わないではなかったが、彼の気持ちがとてもうれしかった。もちろん、他の選手も、スタッフも同じ気持ちでいてくれると思う。残りの試合を全部勝つ!しかも、長良川で3試合やれる。選手達を全力で鼓舞し、共に闘い抜きましょう!!(ぐん、)

●10/30の北九州戦は現地には行けず自宅スカパーで応援しました。試合はご存じのように1対2での悔しい敗戦となりました。

テレビでは試合後選手達が現地に駆け付けた岐阜サポの所へ挨拶に行った時にうな垂れる選手達を鼓舞しようと声を掛けている様子が映り、それを見てオイラは少しウルウルしてました。現地で声かけてくれたみんな、ありがとうね。

残り4試合の段階で最下位に転落しました。でも「まだ」4試合あります。無条件で残留出来る20位までの勝点差は「3」。まだまだ諦める訳には行きません。前向いて行きましょう!(ヤックル)

●昔、「ゲームは終わるまで終わらない」という言葉を読んだ記憶があるけれど、誰だっけ?と調べたら、アメリカ・大リーグで監督を務めたヨギ・ベラ氏の言葉だそう。It ain't over 'til it's over.『ジャイキリ』ほどではないが一部サッカーファンの間で話題のマンガ『サポルト!』では、主人公の友人が「世界一諦めの悪い場所、それがゴール裏だろ!」と叫ぶ。幸いにも、FC岐阜は残り4試合のうち3試合がホーム戦だ。とはいっても、ホーム戦だから判定が有利になったり相手ゴールが大きくなったり(笑)はしない。ホーム戦を『幸い』に出来るかどうかは、ぼくたちの仕事だ。「世界一諦めの悪いスタジアム」に、なろうじゃないか。(吉田 Casting)

10/30 現在の、J3 順位表。 (残り3試合)

自動昇格	1	栃木	55pts	+18	得点 35	失点 17	★保有
入替戦	2	大分	52pts	+20	得点 42	失点 22	★保有
	3	鹿児島	49pts	+10	得点 37	失点 24	
	4	富山	44pts	+8	得点 32	失点 25	★保有
	5	秋田	43pts	+8	得点 31	失点 22	
	6	長野	43pts	+8	得点 29	失点 21	★保有

●富山、長野の「J1自動昇格」はなくなりました。長野については、得失点差を考えると入替戦圏内もかなり厳しい状況です。気になる鹿児島(2位以内になるとJ2の21位は自動残留になる)の残りの対戦相手ですが、A/藤枝→H/盛岡→A/長野、となっています。大分は、H/G大阪U23→H/YS横浜→A/鳥取。栃木・大分という「昨年のJ2降格組」によるマッチレース(上位が自動昇格、下位が入替戦)の様相が色濃くなってきました。『岐大通』ではFC岐阜のJ2残留が決まるまで、J3情報を掲載していきます。(編集人:吉田 Casting)